

# 小・中・高を通じ、音楽科、芸術科（音楽）において 育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

平成28年4月26日  
教育課程部会  
芸術ワーキンググループ  
参考資料1-1

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
小学校 音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音乐的な特徴及び構造と、曲想との関わりについての理解、<u>音符、休符、記号や音楽に関わる用語の意味や働きについて音楽活動を通じた理解</u> など</li> <li>・自分で音楽表現をしたり友達と一緒に音楽表現をしたり、自分の思いや意図を音楽で表現したりするための基礎的な技能 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に対する感性を働かせ、<u>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、知識や技能を得たり活用したりして、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図を見いだす力</u> など</li> <li>・音楽に対する感性を働かせ、<u>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどの感じ取りながら、知識を得たり活用したりして、楽曲の特徴や演奏のよさなどを考え味わい、自分なりに音楽のよさなどを見いだす力</u> など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム感、旋律感など音楽の特性を感じ取る感性</li> <li>・協働して音楽活動する喜びの実感</li> <li>・音楽の学習に主体的に取り組む態度</li> <li>・音楽を愛好する心情</li> <li>・生活の中の様々な音や音楽への気付き</li> <li>・音楽経験を生活に生かし、生活を明るく潤いのあるものにする態度</li> <li>・我が国や諸外国の音楽に親しみ、それらを大切にする態度</li> <li>・美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 など</li> </ul>

下線部は、〔共通事項〕と関連する箇所

# 小・中・高を通じ、音楽科、芸術科（音楽）において 育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
中学校 音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽の構造と曲想との関わり、及び音楽の背景と曲想との関わりやその多様性などの音楽文化について理解することや、<u>音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること</u> など</li> <li>・ 自分なりに音楽表現を創意工夫したり、思いや意図を音楽で表現したりするための技能を身に付けること など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽に対する感性を働かせ、<u>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識や技能を得たり活用したりして、音楽表現を創意工夫し、どのように表すかについて思いや意図を生み出すこと</u> など</li> <li>・ 音楽に対する感性を働かせ、<u>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知識を得たり活用したりして、音楽を自分なりに解釈したり、音楽と人々の暮らしなどとの関連から音楽を捉えたり、自分にとっての価値を考えたりし、よさや美しさを味わい、音楽の意味や価値を生み出すこと</u> など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音や音楽のよさや美しさなどの質的な世界を価値あるものとして感じ取る感性</li> <li>・ 協働して音楽活動する喜びの自覚</li> <li>・ 音楽の学習に主体的に取り組む態度</li> <li>・ 音楽を愛好する心情</li> <li>・ 音環境への関心</li> <li>・ 音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度</li> <li>・ 我が国の音楽文化への愛着や、諸外国の様々な音楽に関わる態度</li> <li>・ 美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 など</li> </ul>

# 小・中・高を通じ、音楽科、芸術科（音楽）において 育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
高等学校 芸術 （音楽）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の構造と曲想との関わり、及び音楽の文化的・歴史的背景と曲想との関わりや表現方法、音楽様式、伝承方法の多様性などの音楽文化について理解することや、<u>音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽表現上の働きと関わらせて理解すること</u> など</li> <li>・個性を生かした音楽表現の創意工夫をしたり、表現意図を音楽で表現したりするための技能を身に付けること など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感性を働かせ、<u>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知識や技能を得たり活用したりして音楽表現を創意工夫し、楽曲の背景などに関わらせながら表現意図を創造すること</u> など</li> <li>・感性を働かせ、<u>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知識を得たり活用したりして音楽を自分なりに解釈したり、音楽と生活及び社会などとの関連から音楽を捉えたり、自分や社会にとっての価値を考えたりし、よさや美しさを味わい、音楽の意味や価値を創造すること</u> など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽のよさや美しさなどの質的な世界を価値あるものとして感じ取る感性</li> <li>・協働して音楽活動する喜びの自覚</li> <li>・芸術としての音楽の学習に主体的に取り組む態度</li> <li>・生涯にわたり音楽を愛好する心情</li> <li>・よりよい音環境を求める態度</li> <li>・音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにする態度</li> <li>・我が国及び諸外国の音楽文化を尊重する態度</li> <li>・美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 など</li> </ul>
高等学校 音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に関する専門的な知識及び音楽表現の技能 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感性を働かせ、音楽を分析的かつ総体的に捉え、根拠をもって解釈し、明確な表現意図をもったり、音楽作品や演奏などについて批評する能力を高めたりして、音楽の社会的・文化的な意味や価値から芸術文化の発展について考え、創造すること など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽のよさや美しさなどの質的な世界を価値あるものとして感じ取る感性</li> <li>・音楽文化の発展と創造に寄与する態度</li> <li>・美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 など</li> </ul>

下線部は、表現及び鑑賞の活動の支えとなる指導内容

# 小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

平成28年4月26日  
教育課程部会  
芸術ワーキンググループ  
参考資料1-2

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
小学校 図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色などの造形的な特徴や、材料や用具の特徴、作品のことなどについての、造形的な創造活動を通じた理解。 など</li> <li>・感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせたり経験を生かしたりしながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつ</u>などして、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫するなどの創造的な技能。 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつ</u>などして、表したいことを発想したり、形や色、用途などを考えながら、表し方を構想したりする力。 など</li> <li>・感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつ</u>などして、自分たちの作品や美術作品などから表現の面白さを捉えたり、よさや美しさなどを感じ取ったりする力。 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な対象や事象を心を感じ取る感性</li> <li>・感性を働かせながら味わう、つくりだす喜び</li> <li>・造形的な創造活動に主体的に関わる態度</li> <li>・<u>形や色などによるコミュニケーション</u>を通して、生活や社会と主体的に関わる態度</li> <li>・美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 など</li> </ul>

下線部は、〔共通事項〕と関連する箇所

# 小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
中学校 美術	<p>・ <u>形や色彩，材料，光などの性質や，それらがもたらす感情などの特徴について，創造活動を通じた造形的な視点として美感的に理解したり，美術作品，文化遺産などについて造形的な特徴から作風などを理解したりすること。</u></p> <p>など</p> <p>・ 感性や造形感覚を働かせ，<u>形や色彩などの表し方のコツをつかみ，意図や自己の捉えたイメージなどに応じて，形や色彩，材料，用具の特性を生かしたり，新たな表現方法を工夫したりすることや，見通しをもって表したりするなどの創造的な技能を身に付けること。</u></p> <p>など</p>	<p>・ 感性や想像力を働かせ，<u>造形的な視点</u>で対象・事象を捉えたり，<u>形や色彩の特徴などを基にイメージを捉えたりする</u>などして，主題を生み出したり豊かに発想したりし，よさや美しさなどを考え創造的な表現の構想を練ること。</p> <p>など</p> <p>・ 感性や想像力を働かせ，<u>造形的な視点</u>で対象・事象を捉えたり，<u>形や色彩の特徴などを基にイメージを捉えたりする</u>などして，身の回りの造形や美術作品についての見方や感じ方を深めたり、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きを捉えるとともに，美術文化を伝統的かつ創造的側面から捉えたりして，そのよさや美しさなどを感じ取り味わうこと。</p> <p>など</p>	<p>・ 様々な対象・事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る感性</p> <p>・ 美術の創造活動の喜び</p> <p>・ 美術の創造活動に主体的に取り組む態度</p> <p>・ 美術を愛好する心情</p> <p>・ <u>形や色彩などによるコミュニケーション</u>を通して、生活や社会と主体的に関わる態度</p> <p>・ 美術文化の継承と創造への関心</p> <p>・ 美しいものや優れたものに接して感動する，情感豊かな心としての情操</p> <p>など</p>

下線部は、[共通事項]と関連する箇所

# 小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
高等学校 芸術 (美術)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形要素の働きなどについて、創造活動を通じた造形的な視点として美感的に理解したり、美術作品、文化遺産などについて造形的な特徴から表現の特質を理解したりすること。</li> <li>など</li> <li>・感性や美的感覚、造形感覚などを豊かに働かせ、意図や自己の捉えたイメージなどに応じて、造形要素や材料、用具の特性を生かしたり、表現方法を創意工夫したりして表すなどの創造的な技能を身に付けること。</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感性や美的感覚、想像力を豊かに働かせ、造形的な視点で対象・事象を幅広く捉えたり、造形要素の特徴などを基にイメージを捉えたりするなどして、主題を生成し、表現形式などの特性や造形要素の働きなどを考え、創造的な表現の構想を練ること。</li> <li>など</li> <li>・感性や美的感覚、想像力を豊かに働かせ、造形的な視点で対象・事象を幅広く捉えたり、造形要素の特徴などを基にイメージを捉えたりするなどして、美術作品などを様々な観点から鑑賞して、心豊かな生き方に関わる美術の働きを捉えるとともに、美術文化を伝統的かつ創造的側面から幅広く捉え、そのよさや美しさを創造的に味わうこと。</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な対象・事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る感性</li> <li>・美術の創造活動の喜び</li> <li>・芸術としての美術の創造活動に主体的に取り組む態度</li> <li>・生涯にわたり美術を愛好する心情</li> <li>・形や色彩などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と主体的に関わる態度</li> <li>・美術文化を尊重する態度</li> <li>・美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操</li> <li>など</li> </ul>
高等学校 美術科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の関する専門的な知識及び創造的な技能</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感性や美的直感力、想像力を豊かに働かせ、個性豊かな発想や構想をしたり、美術作品や文化財などについて批評する能力を高めたりして、地域や社会全般にわたる芸術文化の発展について考え、創造すること。</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な対象・事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る感性</li> <li>・美術文化の発展と創造に寄与する態度</li> <li>・美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操</li> <li>など</li> </ul>

下線部は、表現及び鑑賞の活動の支えとなる指導内容

# 小・中・高を通じ、図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸） において、育成すべき資質・能力の整理（検討のたたき台）

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
高等学校 芸術 (工芸)	<p>・造形要素の働きなどについて、創造活動を通じた造形的な視点として実感的に理解したり、工芸作品、伝統工芸などについて造形的な特徴から工芸の特質などを理解したりすること。</p> <p style="text-align: right;">など</p> <p>・感性や美的感覚、造形感覚などを豊かに働かせ、意図や自己の捉えたイメージなどに応じて、造形要素や素材、用具の特性を生かしたり、手順や技法などを吟味し創意工夫したりして制作するなどの創造的な技能を身に付けること。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・感性や美的感覚、想像力を豊かに働かせ、造形的な視点で対象・事象を捉えたり、造形要素の特徴などを基にイメージを捉えたりするなどして、心豊かに発想し、用と美の調和や造形要素の働きなどを考え、創造的な制作の構想を練ること。</p> <p style="text-align: right;">など</p> <p>・感性や美的感覚、想像力を豊かに働かせ、造形的な視点で対象・事象を捉えたり、造形要素の特徴などを基にイメージを捉えたりするなどして、工芸作品などを様々な観点から鑑賞して、心豊かな生き方に関わる工芸の働きを捉えるとともに、工芸の伝統と文化を創造的側面から幅広く捉え、そのよさや美しさを創造的に味わうこと。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・様々な対象・事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る感性</p> <p>・工芸の創造活動の喜び</p> <p>・芸術としての工芸の創造活動に主体的に取り組む態度</p> <p>・生涯にわたり工芸を愛好する心情</p> <p>・形や色彩などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と主体的に関わる態度</p> <p>・工芸の伝統と文化を尊重する態度</p> <p>・美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操</p> <p style="text-align: right;">など</p>

下線部は、表現及び鑑賞の活動の支えとなる指導内容

# 芸術科（書道）において育成すべき資質・能力の整理 （検討のたたき台）

平成28年4月26日  
教育課程部会  
芸術ワーキンググループ  
参考資料1-3

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
高等学校 芸術 （書道）	<ul style="list-style-type: none"> <li>書を構成する要素とその表現効果の視点から、表現方法、形式、書表現の多様性などについて理解したり、生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化について書の特質に即して理解したりすること など</li> <li>感性を働かせて、意図に基づいた創造的な表現を構想し工夫するために、用具・用材の特徴を理解し、書の伝統に基づく効果的な書表現の技能を身に付けること など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書のよさや美しさを感じ、書を構成する要素と<u>その関連から生み出される働きを捉える</u>などして、感性を働かせながら、自らの思いや意図に基づいて構想し、表現を工夫すること など</li> <li>書を構成する要素と<u>その関連から生み出される働きを捉える</u>などして、書表現を創造的に味わったり、文字や芸術としての書の伝統と文化を、歴史的背景や諸文化との関連などから深く捉えたりして、書の効用や作品の価値を考え、書に対する見方や考え方を広げたりすること など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書の特質に根ざし、よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る感性</li> <li>書の創造的活動の喜び</li> <li>芸術としての書の創造的活動に主体的に取り組む態度</li> <li>生涯にわたり書を愛好する心情</li> <li>文字や書の効用を生活や社会の中で生かす態度</li> <li>書の伝統と文化を尊重する態度</li> <li>美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 など</li> </ul>

下線部は、表現及び鑑賞の活動の支えとなる指導内容